



「我が校の教育」特色ある活動紹介

市内の小中学校 全30校を毎月紹介します

第11回

郡上市立 大和第一北小学校
郡上市立 大和第一北小学校
郡上市立 大和第一北小学校

大和第一北小学校

小学校の隣には「郡上大和ほたるの里公園」が平成17年に整備されています。「ホタルがいっぱい飛び交う美しい万場の自然をいつまでも守りたい」との願いを受け継ぎ、地域の方に教えてもらい子どもたちがホタルの飼育活動に取り組んでいます。
◎地域ぐるみで守る万場のホタル



飼育活動を担うのは三年生の児童です。春、卵からかえった幼虫の観察をします。ホタルのえさとなるカワニナを公園内を流れる小川などでつかまえることも大切な仕事です。施設の蛍光館内で飼育されている幼虫は、三年生がホタル当番を決め、休み時間等を活用して飼育活動を行います。
初夏、水中で暮らしていた幼虫は、水から上がり土の中にもぐってさなぎになります。「そろそろ上陸の準備を始めよう」万場のホタルを地域の中

心となつて守ってきた小保田さんに教えてもらい、幼虫が上陸できるように水槽の準備をします。ここで子どもたちは、全ての幼虫が成虫になることができない厳しさを知ります。

「百匹の幼虫がいても、そのうち三匹しか成虫になれない」「ホタルの幼虫は、川魚やザリガニなどの天敵に食べられたり、死んでしまったりする」「万場のホタルが、ずっと元気でいられますように……」その願いをみんなに伝える機会がホタル観察会です。
◎美しい自然を守るのは



ほくたち一人ひとり
毎年、ホタルが飛び始める六月半ばに、地域の方を招いて、ホタル観察会を行います。
「ホタルはきれいな水にしか生きられませんが、きれいな水にしか生きられないからです」これは、ホタル観察会での三年生の子どものたちの言

葉です。ホタルが元気に生き続けるためには、自然を守り続けることが重要であり、自分たちがその責任を担っていると実感した子どもたち。

- ①ゴミを捨てない
 - ②汚れたものを川に流さない
 - ③川の生き物を大切に
- 万場の豊かな自然を守るために、自分たちにできることを具体的に考え、歩み始めた子どもたちです。

大中小学校

大和第一北小教頭 中村純子

毎朝、元気な子どもたちの声で本校の一日がスタートします。16名の新生を迎えた大中小学校。新入生は、どんな時でも優しく声をかける上級生たちに囲まれています。また、児童たちは登下校中、地域のボランティアの方に見守っていただいています。

◎大中小の自慢「なかよし宣言」

平成24年度から「いじめのない学校づくり」を目標に、児童会で3つの「なかよし宣言」を行っています。

- ・友達となかよく活動します。
- ・ニコニコ言葉を使います。
- ・目を見て明るいあいさつをします。

通学班では、六年生を中心に、みんなが仲よく安心して安全に登校できるようにしています。

なかよし班という縦割りの班で、掃除や全校遊びに取り組みだり、大縄とびに挑戦したりしています。「大丈夫だよ」「できるよ、がんばって」などのやさしい声がかかります。また、それに応える声も聞かれます。こうして毎年、なかよしの輪が広がっていきます。

六月には「なかよし宣言の日」が実施され、児童会で先の3つについて宣言するとともに、各学級も宣言を發表します。

平成25年度からは、PTA活動のスローガンも「PTAなかよし宣言」とし、保護者も仲間となって子どもたちを育てようという活動に広がっています。

◎地域を学ぶ「大中学（五年生）」

本校では郡上市で取り組んでいる「郡上学」を校区の学習に

絞り込み「大中学」として毎年活動を工夫して取り組んでいます。この「大中学」はいろいろな場面で地域のボランティアの方に支えられています。昨年度五年生は、大島の神楽などで多くの方の力をお借りしました。

七月の宿泊研修で、大島の方から神楽の歴史と笛、太鼓、獅子舞を教えてくださいました。そして、それを練習し、四年生、六年生とともに地域の方にも披露しました。



毎年、保護者のみなさんや地域の方も楽しみにしてくださり、子どもたちも意気に感じて取り組みました。こうした学習を通して、地域を学ぶことはもちろん、地域への愛着・誇りや、感謝の気持ちも育てるような子どもたちに育ってほしいと願っています。

大中小学校長 奥田好紀